



お元気ですか！
志村 たかよし です

第729号 2015年2月8日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

中央区景気動向調査

「現状・先行きDI」六ヶ月連続低下

消費税8%で景気は落ち込みつづき

昨年4月の消費税8%への増税と円安による物価上昇は、景気に悪影響を与えています。

そのことは、中央区が行っている景気動向調査（左上枠）にも表れています。

このほど12月調査（二ヶ月ごとに実施）の結果が報告されました。それによると、「現状」のDI（左下枠）は、前回調査から1.6ポイント低下し44・1となりました。

調査方法は…

調査方法は、中央区内において景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々を景気ウオッチャー（調査協力員）として委嘱し、それぞれの仕事を通じた景気判断を報告してもらうことにより、地域の景気動向を迅速かつ的確に把握し、効果的な施策を実施するための基礎資料とすることを目的としています。

「先行き」のDIは44・7と前回調査から3・2ポイント低下しました。

調査に寄せられた声

調査に寄せられた声は

【現状について】

「客は必要な物以外は買わない。客単価は前年よりやや良いが、客数は変わっていない」
「春から来客数が低迷し、暮れま

DIとは…

景気の動きを知るための代表的な経済指標。増加（または「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（または「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

でそのままの状態が続いている」

「自動車や情報通信の基幹産業に加え旅行、食品など個人消費に関わる分野での広告出稿量が大きく落ち込んでいる」
「円安による輸入原価の上昇が利益を圧迫している」

【先行きについて】

「現状維持が精一杯である。今後は良い商品や高単価商品をいかに購入してもらうかで左右される」
「来客数、販売量、客の様子などすべての面で悪く今後あまり良いとは考えられない」
「取引企業の来期に向けた状況を聞くと、今期に増して保守的な姿勢が多く見受けられる」

「大企業では全般的に従業員への利益の還元があるようだが、中小

零細企業には及んでいない」
「消費税増税による様々な数字が悪く出ているので、消費マインド

の悪化を懸念している」

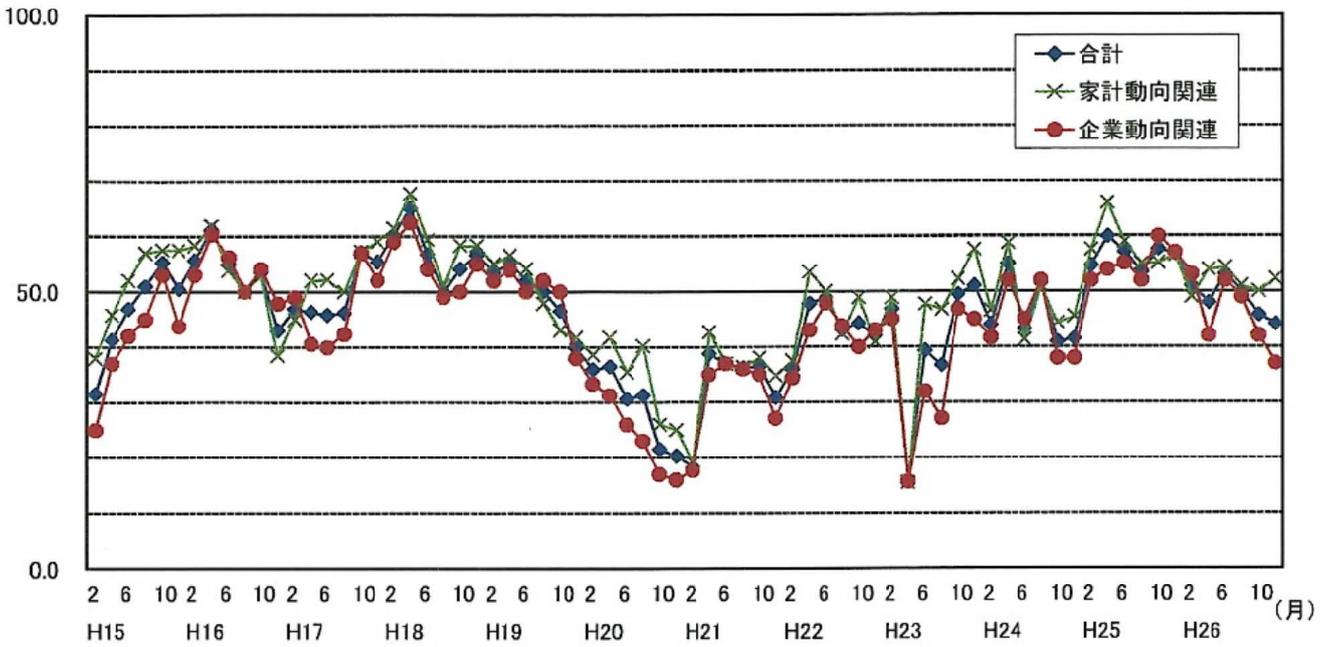
などの意見がありました。



(DI)

現状判断DIの推移

区資料より



「駆け込み需要の反動」と区長

11月の第4回定例会の一般質問で、私は消費税増税と格差を広げるアベノミクスが、消費を冷え込ませ、景気を後退させていることを様々な指標を使って示し、区長の見解を問いました。

区長は「消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動」

との認識を示しました。

しかし、六ヶ月連続の「DI」低下という事実は、「駆け込み需要の反動」という認識が間違っていることを示しているのではないのでしょうか。

消費税10%は中止すべきなのに

区長は消費税10%への引き上げに対して「法律で定めら

れたものであり、国に中止を求めることは考えていない」と答えました。

消費税8%が中小企業や商店に打撃を与えているにもかかわらず、「10%実施」を認める区長は、地域経済の現状を直視することを避けているのでしょうか。

日本共産党区議団は、消費税10%実施中止を求め、がんばります。

朽ちたベンチの改修を要求

隅田川テラスに、「朽ちたまま放置されているベンチが危険」との連絡を受け現場に行きました。
場所は、上写真の丸印、新川ツインビルの裏手に当たります。
ベンチの様子は、
下写真のように「ベンチ」には見えないほどの破損状況でした。
撮った写真を持って区に報告し、改修を求めました。



「意見」「要望」など、お気軽に「連絡ください」(03-6396-0000)